

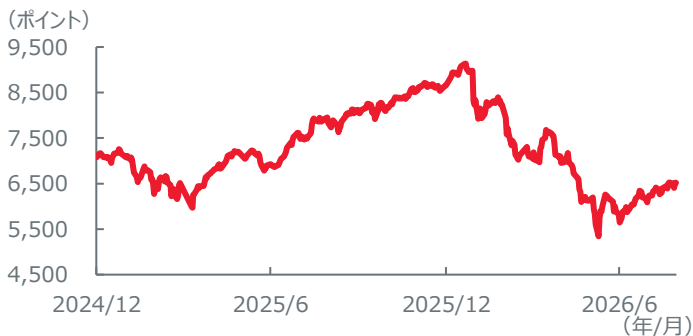
【マーケット振り返り】

株式市場は、反政府デモの拡大懸念から週初は小幅に下落しました。その後、インドネシア国会がデストリ・ダマヤンティ氏をインドネシア中央銀行（BI）総裁として承認し、同氏がルピアの安定維持や中央銀行の独立性確保へのコミットメントを表明したことが安心材料となり、株価は反発しました。週を通じては前週末比で小幅な下落となりました。

債券市場では、国債入札の応札倍率低下やジャカルタなどでの反政府デモが投資家心理の重しとなり、週半ばにかけて10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。週末にかけては、ルピアの反発やBI総裁人事の進展などを背景に利回りは低下に転じたものの、インドネシア10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

為替市場では、ジャカルタや主要都市での反政府デモや米金利上昇に伴う米ドル高がルピアの上値を抑えた一方、原油価格の下落基調が支援材料となり、ルピアは底堅く推移しました。ルピアは前週末比で対米ドルでは小幅に下落したものの、対円では上昇しました。

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年8月28日）



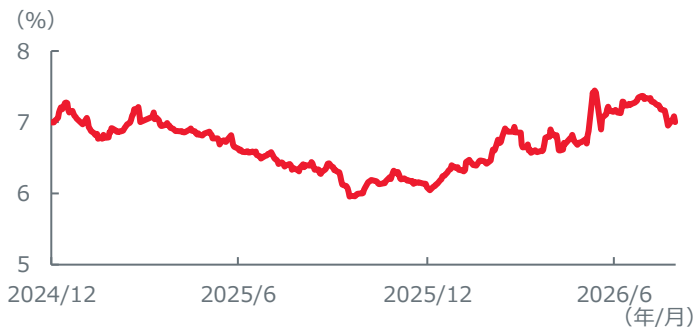
前週

2026/8/21	2026/8/28	変化率
6,525.69	6,518.12	-0.12%

年初来

2025/12/30	2026/8/28	変化率
8,646.94	6,518.12	-24.62%

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年8月28日）



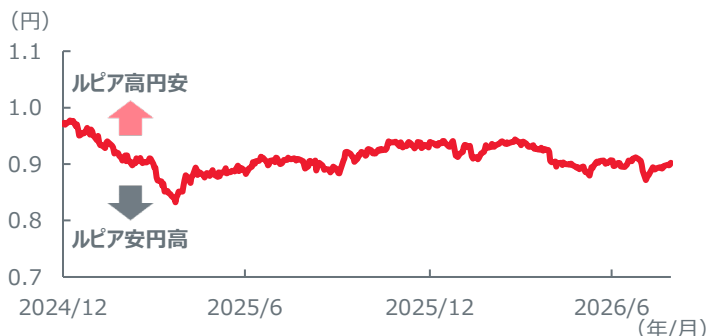
前週

2026/8/21	2026/8/28	変化幅
6.954	7.004	+0.050

年初来

2025/12/31	2026/8/28	変化幅
6.070	7.004	+0.934

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年8月28日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2026/8/21	2026/8/28	変化率
0.8968	0.9023	+0.61%

年初来

2025/12/31	2026/8/28	変化率
0.9390	0.9023	-3.91%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。